

調湿効果に優れた仕上材

しっくい・コテ押え

~人に優しく、自然環境に適した居住空間を持つ安心な住まい~

中塗り材

内外装仕上げ材

【中塗り材】

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0704030
飛散等級 区分表示	F
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

【内外装仕上材】

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0305237
飛散等級 区分表示	F
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

しっくい・コテ押え

昨今ほど自然および居住空間の環境に対する思いが、これほど敏感に浸透した時期はなかったでしょう。必要以上の熱効率やホルムアルデヒドによる室内汚染で、病魔に犯される事態が多く発生したため国内各地で問題となり、室内のクロスや糊の材質、家具、壁材などの材質に、ホルムアルデヒドの発生しない商品が主力で採用されることが多くなりました。

その昔からある漆喰壁は、環境に優しく調湿作用も有効に働くということで、我々壁材メーカーの間でも昔ながらの漆喰壁が最近顕著に見直され復活しております。

当社の漆喰壁「しっくい・コテ押え」の主原料は厳選された消石灰を使用し、さらに上質の粉角又と繊維、骨材を取り入れ、昔ながらの貝灰同様、調湿効果に優れた日本の高温多湿な気候、風土に最適な壁材ではないかと思えます。

また、国宝の姫路城や多くの神社、仏閣に見られるように、上品で優雅なその雄姿は日本人の心を打つ白い壁の王様と言えます。

〔 目 的 〕

この施工マニュアルは「しっくい・コテ押え」の塗り工事に於ける品質の確保と低亀裂性等を追及する為のものです。

〔 用 途 〕

「しっくい・コテ押え」は厳選された消石灰を主材に高品質の粉角又、つなぎ材他作業性と仕上がりを最重視して選定した混和材等を旨くブレンドし、日本古来の気品と優雅さを追求した調湿効果の優れた内外壁です。

〔 適 用 下 地 〕

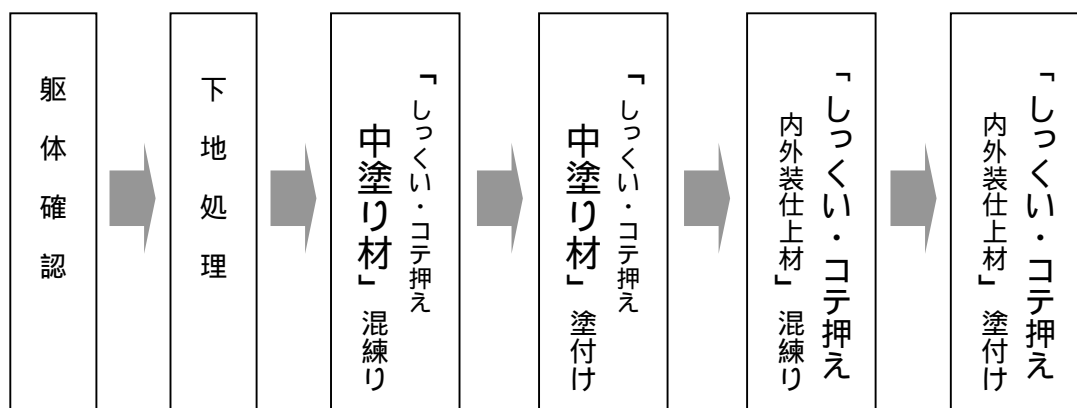
・中塗り土 ・石膏プラスター（ラスボード下地） ・モルタル ・コンクリート

しっくい・コテ押え 中塗り材	しっくい・コテ押え（内外装仕上材）
1袋 / 2.5kg 練上り量：約1.6 以上 約3.3㎡ / 5mm厚	1袋 / 2.0kg 練上り量：約2.5 約2.5㎡ / 1mm厚

〔使用材料〕

「しっくい・コテ押え 中塗り材」	2.5 kg / 防湿紙袋入り	清水	約 7
「しっくい・コテ押え」(内外装仕上材)	2.0 kg / 防湿紙袋入り	清水	約 16
「NICE ラテックス #45」(高性能アクリル系共重合樹脂ラテックス) / (1.8 kg 缶入り、4 kg ポリ容器入り) 全て吸水調整剤、およびモルタル接着増強剤			

〔施工工程〕



〔施工方法〕

施工時から最終の仕上げ工事までの予想平均気温が 5 ～ 35 の範囲で施工してください。

原則として、必ず中塗りに「しっくい・コテ押え中塗り材」を施工してから、仕上げに「しっくい・コテ押え(内外装仕上材)」を施工して下さい。

(下地が荒壁土で中塗り土が生乾きの状態で施工される場合)の施工方法

躯体確認

1) 中塗り土に混入してある藁スサが晒してあるものか否か確認して下さい。さらしていない藁スサを使用している場合、仕上材のしっくい壁表面に黄色のアクが発生する場合があります。

(注意) 上記の件が予想される場合は(中塗り土)を完全乾燥させた後「NICE ラテックス #45」3倍液にて縦横2回ぐらいプライマー処理を行ない、更に完全乾燥させた後「しっくい・コテ押え(内外装仕上材)」を塗りつけて仕上げを行なって下さい。

「しっくい・コテ押え」混練り

1) 「しっくい・コテ押え(内外装仕上材)」1袋/20kgに対し清水、約16ℓを混入し塗りやすい硬さに調整しておいて下さい(尚、防水材として菜種油等を混入される場合は、必ずしっくい専用オイルの使用書を参考にされ混入してください。)

「しっくい・コテ押え」塗付け

1) 中塗り土が生乾きの状態で「しっくい・コテ押え(内外装仕上材)」を施工される時は、中塗り土が半乾きで、ある程度締まった状態の上へ一度しごき塗りを行ない2回に分けて塗りつけて下さい。

2) 締まり具合を見てコテ波を取り タイミングを見計らって押え仕上げを行なって下さい。

(下地が荒壁土及び中塗り土が完全乾燥している場合、または改修工事をされる場合)の施工方法

躯体確認

1) 中塗り土に混入してある藁スサが晒してあるものか否か確認して下さい。さらしていない藁スサを使用している場合、仕上材のしっくい壁表面に黄色のアクが発生する場合があります。

(注意) 上記の件が予想される場合は(中塗り土)を完全乾燥させた後「NICE ラテックス #45」3倍液にて縦横2回ぐらいプライマー処理を行ない、更に完全乾燥させた後「しっくい・コテ押え(内外装仕上材)」を塗りつけて仕上げを行なって下さい。

下地処理

1) 土壁の荒壁土及び中塗り土がポロポロになり壁面に穴が開いたり角が欠けたりしている場合、その箇所及びその周辺にプライマー処理(「NICE ラテックス #45」3倍液)を塗布して乾燥させ中塗り用土、又は「しっくい・コテ押え 中塗り材」にて寒冷紗を挟みながら補修を行ない完全に乾燥させてください。

2) 補修箇所が完全に乾燥した後、補修箇所を含む全面にプライマー処理を行なって下さい。当社商品「NICE ラテックス #45」(アクリル系樹脂)の10倍液(樹脂1ℓに対し清水9ℓ)で薄めた樹脂液を噴霧器等で2回~3回噴霧し、更に3倍液(樹脂1ℓに対し清水2ℓ)に薄めた樹脂液を噴霧して下さい

養生期間は、約1日間~3日間。中塗り材施工前日までに完全乾燥が望ましい。

「中塗り材」混練り

1) 「しっくい・コテ押え 中塗り材」1袋に清水・約7ℓを入れ、ハンドミキサー等でよく混練りし塗りやすい硬さに調整して下さい。

「中塗り材」塗り付け

- 1) 準備したネタ「しっくい・コテ押え 中塗り材」を一度しごき塗りを行ない、次に所定の厚み約5mm厚程度まで塗り付けて下さい。
締まり具合を見計らってコテ波を取り、仕上げぐらいにしておいて下さい。

「しっくい・コテ押え」混練り

- 1) 「しっくい・コテ押え（内外装仕上材）」1袋/20kgに対し清水、約16ℓを混入し塗りやすい硬さに調整しておいて下さい（尚、防水材として菜種油等を混入される場合は、必ずしっくい専用オイルの使用書を参考にされ混入してください。）

「しっくい・コテ押え」塗付け

- 1) 混練りで作ったネタを中塗りが締まった状態の上へ一度、しごき塗りを行ない2mm厚程度、塗り付けタイミングを見計らってコテ波を取り最後の仕上げは「プラスチック鏝」で3回～4回程度、押さえ仕上げを行なって下さい。
下地がモルタルであっても中塗り及び上塗りも同様の施工方法で行なって下さい。
モルタル下地へのプライマー処理は必ず行なって下さい。（「NICE ラテックス #45」3倍液にて）

使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合品です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練り混ぜないで下さい。なお、混練りには水道水等の清水を使用して下さい。
2. 混練りした材料は夏期 1 時間、冬期 2 時間以内に使用して下さい。練り足しや加水して練り戻しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が 5 ～ 35 の範囲内で行ってください。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から 6 カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 悪天候（降雨、降雪等）またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取扱い時の安全対策（概要）

・取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、消石灰と同様の取扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に床面から離して保管して下さい。

・応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄上の注意

廃棄する製品や混練り材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊 運



ISO 9001:2008&JIS Q 9001:2008

本社・営業本部	〒546-0003	大阪市東住吉区今川3丁目12番4号	TEL 06-6708-8131	FAX 06-6708-8133	
東日本営業部	TEL 0247-54-3232	FAX 0247-24-1004	岡山営業部	TEL 0868-38-4001	FAX 0868-38-7022
大阪営業部	TEL 06-6708-8131	FAX 06-6708-8133	京都営業課	TEL 0771-86-0711	FAX 0771-86-0811

URL:<http://www.ho-un.co.jp/>